

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	障がい福祉サービス事業所あいの里中間
住所	福岡県中間市中底井野1164番30
電話番号	093-482-8281

事業所番号	4016200240
管理者名	安河内克枝
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	○
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
小計(注1)	90点

(IV) 支援力向上(※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合	○
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している	○
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計(注2)	4点

(II) 生産活動	
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	
小計(注1)	60点

(III) 多様な働き方(※)	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 就業規則等で定めている	○
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている	○
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている	
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている	○
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	○
小計(注1)	5点

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
小計	10点

(VI) 経営改善計画	
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○
小計	0点

(VII) 利用者の知識・能力向上	
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○
小計	10点

項目	点数
労働時間	90点
生産活動	60点
多様な働き方	15点
支援力向上	5点
地域連携活動	10点
経営改善計画	0点
利用者の知識・能力向上	10点

合計	190点 / 200点
----	-------------



就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 6年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	53,081.2	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,481	人
			利用者の1日の平均労働時間数	7.0	時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（ 11月～ 10月）					
前々々年度（ 3年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	19,170,668	円	利用者に支払った資金総額	18,434,071	円
			収支	736,597	円
前々年度（ 4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	49,973,683	円	利用者に支払った資金総額	42,168,774	円
			収支	7,804,909	円
前年度（ 5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	62,074,927	円	利用者に支払った資金総額	61,164,722	円
			収支	910,205	円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

<p>①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度</p> <p>◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>②利用者を職員として登用する制度</p> <p>◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</p> <p>在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input type="checkbox"/></p>
<p>④フレックスタイム制に係る労働条件</p> <p>◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p>	<p>⑤短時間勤務に係る労働条件</p> <p>◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>⑥時差出勤制度に係る労働条件</p> <p>◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p>
<p>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</p> <p>◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</p> <p>◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

<p>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</p> <p>◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※研修名：障がい福祉サービス事業所等支援員研修 研修講師：一般財団法人 保健福祉振興財団 福岡支部 実施日・受講者数 11月 1日 4人</p>	<p>②研修、学会等又は学会誌等において発表</p> <p>◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input type="checkbox"/></p> <p>※研修、学会等名 _____ 月 日 ※学会誌等名 _____ 月 日 掲載日 _____ 月 日 発表テーマ _____</p>	<p>③視察・実習の実施又は受け入れ</p> <p>◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※先進的事業者名 社会福祉法人共生福祉会サンシャインワークス 実施日/参加者数 6月 19日 2人 ※他の事業所名 NPO法人佐世保自立支援センターチャレンジ 実施日/参加者数 3月 21日 2人 見学した両事業所ともスコア表170点以上の事業所</p>
<p>④販路拡大の商談会等への参加</p> <p>◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※商談会等名 障害者ワークフェア2024 主催者名 (独)高齢 障害 求職者雇用支援機構・愛知県 日時 令和6年 11月 23日 9時～17時 内容 障害のある方々の雇用や各種支援に関わる展示、実演、体験などの複合的なイベント。一般企業への自社施設の紹介や新たな作業のヒントを得る事が出来た。</p>	<p>⑤職員の人事評価制度</p> <p>◎職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/></p> <p>◎当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/></p> <p>人事評価制度の制定日 _____ 年 月 日 人事評価制度の対象職員数 _____ 名 うち昇給・昇格を行った者 _____ 名 当該人事評価制度の周知方法 _____</p>	<p>⑥ピアサポーターの配置</p> <p>◎ピアサポーターを配置している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※配置期間 4月 1日～ 3月 31日 就業時間 9:00～ 17:00 職務内容 利用者に対して仕事及び生活面での困りごとの聞きとりや助言を行う</p>
<p>⑦第三者評価</p> <p>◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※評価を受けた日 _____ 月 日 第三者評価機関 _____</p>	<p>⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等</p> <p>◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※認証を受けた日 _____ 月 日 規格等の内容 _____</p>	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 _____ 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。





令和 7 年 4 月 15 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	障がい福祉サービス事業所あいの里中間
住所	福岡県中間市中底井野1164番30
電話番号	093-482-8281

事業所番号	4016200240
管理者名	安河内克枝
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>施設外就労 就労場所：株式会社アルサ 中間工場 福岡県中間市中底井野1164番41 業務内容：病院リネンのクリーニング作業 洗濯物の仕分け シーツ類のほぐし作業 タオルのたたみ結束作業 作業人数：4名</p>	<p><活動の様子></p> <p>施設外就労先での クリーニング作業の様子</p>    
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域の工場で施設外就労を行う事で、始業時・終業時の支援や生活支援を手厚く行うことが出来、フルタイム勤務に向けたサポートが行いやすい。 ・職場実習や体験の受け入れの際も協力を仰ぐことができ、実習期間のサポートも行いやすい。 ・工場が施設の向かい側という立地から、合同で火災訓練を行うなどしており、災害時の対応が取りやすい。 	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外就労でフルタイムに近い時間帯の工場勤務をさせてもらうことで、一般就労に向けた体力づくりをすることが出来る。現在、7時間半勤務をさせていただいている。 ・7時間以上勤務の就労訓練施設は数少ないため、実践に近い訓練が出来ると利用者にも喜ばれている。 ・6年度は、タオルのたたみ結束作業もいただくことができ、新たな利用者の施設外就労に繋がった。また、支援員の支援力向上にも繋がっている。 	

連携先の企業等の意見または評価

<ul style="list-style-type: none"> ・始業時・終業時や就業時間中のサポートも手厚く行っていただき、他の従業員との何らトラブルもなく、順調に推移しています。・今後も、支援員のサポートをいただきながら、一般就労に向けた取り組みを行ってまいります。 ・利用者が支援員だけでなく一般就労者とも積極的に会話をするなど、コミュニケーションを図っています。 ・新たな利用者の就労意識も高く支援員と連携を図りながら一般就労に向けた取り組みを邁進しています。 			
連携先企業名	(株) アルサ	担当者名	片村 真也

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	障がい福祉サービス事業所あいの里中間
住所	福岡県中間市中底井野1164番30
電話番号	093-482-8281

事業所番号	4016200240
管理者名	安河内 克枝
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

- ・実施場所：あいの里中間 相談室
- ・実施日時：令和7年3月10日
- ・実施概要：クリーニング業務従事者に必要な基礎知識を学ぶ講習
クリーニング業務従事者講習用テキストを用いて、クリーニング業務従事者の基礎知識を学ぶ。講師はクリーニング師資格を持った支援員が行った。
- ・参加者数：1名

<目的>

- ・クリーニング従事者講習を受講する際に使用するテキストを用いて、クリーニングに関する専門知識を学び、洗濯物の選別や洗剤の取り扱いなどにも従事することができるようになる。
- ・クリーニング業務に興味を持ってもらい、クリーニング師の資格取得に向けた支援を行っていきたい。
- ・専門知識を学ぶことで一般就労を目指す際に強みになる。

<成果>

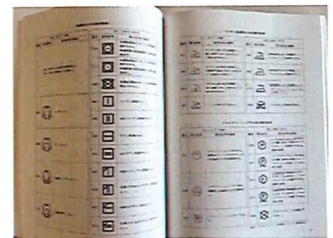
- ・作業を行う上で必要な基礎知識を、少人数でテキストを見ながら講習することで、受講者のペース・理解度に合わせ進めることができた。
- ・受講者の作業の取り組みに対する意識変化が見られた。受講していない利用者に対し作業中の声掛けが増え、仕事への自信につながっている。
- ・利用者全員を対象にした場合、講習内容に専門用語が多い為、利用者の理解力に合わせた講習内容に変更していく必要がある。

<活動の様子>

受講の様子



使用したテキスト



連携先の企業や事業所等の意見または評価

- ・講習を行う事により、実務での作業で洗剤の取扱い、使用量への注意が出来るようになっております。
- 製品の種類別による洗剤への知識向上もはかれ次のステップへ期待しております。

連携先企業（担当者）

株式会社 アルサ 横田 雄吾

利用者からの意見・評価

- ・講習の受講者 S.Iさんの感想
受講した内容に聞いたことのある言葉が出てきた。でも難しかった。年齢も高いので資格取得は無理だと思う。仕事をしながら覚えていく方が良いと思っている。